



# のべおか



# 市議会だより

## 第53号

平成24年11月1日発行  
(2012年)

発行:延岡市議会  
編集:広報・広聴特別委員会

〒882-0813 延岡市東本小路121-1  
TEL(0982)22-7029



平成24年度 こども議会での記念撮影(8月3日)

## 9月定例会の概要

9月定例会は、9月4日に招集され、9月24日まで  
の会期で行われました。

今議会で審議された議案等は、平成24年度延岡市一  
般会計補正予算をはじめとする各会計補正予算、延岡  
市火災予防条例や延岡市暴力団排除条例の一部改正  
など議案11件と、意見書3件、請願1件、陳情4件でし  
た。

また、一般質問は3日間で16名が登壇し、市長の政  
治姿勢をはじめ、新庁舎建設やまちなか循環バス、保  
育料滞納やいじめ問題など、多岐にわたりに行われまし  
た。

そして、最終日の本会議において、平成23年度各会  
計決算を除く議案や意見書案件をいずれも原案通り  
可決し、請願1件を採択、陳情4件をいずれも継続審  
査としたほか、15件の報告を受け、閉会しました。

### 主な掲載内容

(ページ)

- ◆ 9月議会で決まったこと…………… 2
- ◆ 一般質問…………… 3～6
- ◆ 昨年度請願・陳情への対応状況など…………… 7
- ◆ 行政視察の受け入れ及び実施状況など…………… 8



平成24年度 9月補正予算一覧表

会 計 別	補 正 前	補 正 額	合 計
一 般 会 計	※537億9000万8千円	3億9741万0千円	541億8741万8千円
特 別 会 計			
国民健康保険	164億0531万6千円	1億8171万7千円	165億8703万3千円
食肉センター	10万0千円	—	10万0千円
介護保険	123億8983万6千円	1億6093万2千円	125億5076万8千円
後期高齢者医療	14億6210万5千円	—	14億6210万5千円
小 計	302億5735万7千円	3億4264万9千円	306億 6千円
企 業 会 計			
水道事業会計	44億7474万3千円	—	44億7474万3千円
下水道事業会計	59億6545万3千円	—	59億6545万3千円
小 計	104億4019万6千円	—	104億4019万6千円
合 計	944億8756万1千円	7億4005万9千円	952億2762万0千円

※8月補正額(専決処分の承認)を含む。

# 9月議会で決まったこと

## 予算関係

## 条例関係

- ◆延岡市恒富南コミュニティセンター条例の制定
- ◆延岡市防災会議条例及び延岡市災害対策本部条例の一部改正(会議の所掌事務や委員資格の追加ほか)
- ◆延岡市水防協議会条例の一部改正(庶務を消防本部で行うことほか)
- ◆延岡市火災予防条例の一部改正(対象火気設備等の設置基準の規定追加)
- ◆延岡市暴力団排除条例の一部改正(事業者の責務規定の新設)

## 人事関係

- ◆教育委員会委員の選任(森憲一氏、土井成子氏)
- ◆公平委員会委員の選任(山本恵子氏)
- ◆人権擁護委員候補者の推薦(大石孟氏、伊東忠俊氏、小田むつ子氏)

## その他の議案

- ◆宮崎県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議
- ◆財産の取得(クレアパーク延岡工業団地緑地ゾーン用地)
- ◆専決処分の承認(平成24年度延岡市一般会計補正予算)

## 報告

- ◆延岡市土地開発公社の経営状況
- ◆公益財団法人延岡総合文化センターの経営状況
- ◆財団法人延岡市高齢者福祉協会の経営状況
- ◆株式会社ヘルストピア延岡の経営状況
- ◆有限会社延岡市リサイクルプラザゲン丸館の経営状況
- ◆一般財団法人速日の峰振興事業団の経営状況
- ◆一般財団法人北浦町農業公社の経営状況
- ◆北浦総合産業株式会社の経営状況
- ◆株式会社北川はゆまの経営状況

## 意見書

- ◆社団法人北川町畜産公社の経営状況
- ◆専決処分の報告3件(いずれも、車両損傷事故に伴う和解及び損害賠償額の決定)
- ◆健全化判断比率の報告
- ◆資金不足比率の報告

- ◆国の対韓国外交見直しを求める意見書
- ◆香港民間団体による領海侵入及び尖閣諸島不法上陸に関する意見書
- ◆不活化ポリオワクチン導入に伴う費用の助成を求める意見書

なお、平成23年度の延岡市一般会計歳入歳出決算の認定ほか6件の決算関連の議案については、閉会中の継続審査となったため、11月14～16日に行われる決算審査特別委員会にて審査が行われる予定です。

## 【陳情・請願の審査結果】

件 名	結果・経過
新庁舎建設の地元業者への発注に関する請願	採 択
公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情	継続審査
住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書の提出に関する陳情	継続審査
国民の権利を支える行政サービスの確保を求める意見書提出に関する陳情	継続審査
川水流・岡元両やなの架設に対する公費助成を求める陳情	継続審査

# 16名の議員が登壇

# 一般質問

市政に関する内容について、3日間にわたって、活発な議論を展開しました。その一部を紹介いたします。

## 登壇議員

### 【質問順】

- 樹広二誠 洋龍己 ね之夫 司信 幸利 盛臣
- 茂信正 泰 和あ雅益 貞隆 正和 良裕
- 原田野 藤杉 田田 城田 木本 城斐 田石 藤
- 西平 小佐上 太松 中稻 高熊 葛甲 稻白 佐

## 総務財政関係

### 新庁舎建設工事

【問】新庁舎建設工事への地元企業の期待は大きい。地元企業の技術力を結集しての建設を願うが、市長の考えは。

【答】発注方式等については現在、新庁舎建設工事発注方式等検討委員会で検討中である。安全・安心を支える庁舎の視点から、建設に際しては高度な技術・実績等が必要と考えるが、地元企業へ発注したい強い思いもあり、検討委員会に地元企業の最大限の活用をお願いしている。

### 新庁舎建設の地元発注

【問】先日、免震工法に関する勉強会が行われ、免震工法は地元建設業者でも十分施工能力はあり、そのよう



な施工事例もあるとの事であった。新庁舎建設については、地域経済の活性化も考慮して、ゼネコンを考えない地元業者のみでの発注を考えるべきでは。

【答】新庁舎建設工事の発注方式等については、検討委員会での最終報告をもとに市長が判断する。検討委員会では、新庁舎の建築・設備工事それぞれの概要・特性を踏まえ、さまざまな角度から協議を行っている。その中で、地元企業の活用方策についても十分考慮しながら検討している。

### 新庁舎と城山周辺整備構想

【問】新庁舎は、城山等の周辺施設と一体感を持って整備していくことが重要。今後の城山周辺整備の構想

と、国指定についての考えは。

【答】城山周辺はまちづくりの核として整備する必要がある。他のプロジェクト事業の進捗状況を踏まえ、構想をまとめる。国指定を目指すという基本姿勢は見直す時期にきている。



▲城山(正面奥)と市役所付近

### 南海トラフ巨大地震

【問】南海トラフ巨大地震の被害想定では、死者は県内で

金等の補助制度の導入の考えは。

【答】現在、組織の拡大と育成を重点課題として進めている。自主防災組織連絡協議会に年230万円を補助しており、新規組織への器材購入やリーフレット等の配布など、各組織の活動を支援している。しかし、自主防災組織育成事業補助金を創設している自治体もあるので、組織率の向上とともに、今後の課題として協議したい。

### 住居手当の廃止

【問】持ち家に係る住居手当の判断は、これ以上先延ばしするべきではなく、平成25年度より廃止すべきでは。

【答】持ち家に係る住居手当は、現在4割を超える団体の支給されている。本市の場合、制度的には県と同じである。今後、県人事委員会勧告等を踏まえ、改善について対応する。

### コミュニティ施設整備

【問】地域住民のニーズは極めて高いのに、計画が浸透していない。未整備の9地区を平成25年以降3年間でどのような方針で進めるのか。

【答】今後、国や県の状況を踏まえながら対応する。

### 自主防災組織への補助

【問】自主防災組織に対する運営補助金や器材購入補助

### 被災者支援システム

【問】阪神淡路大震災をきっかけにして開発された被災者支援システムの本市への導入は。

【答】現在、プログラムの基本ソフトに適合できるように環境整備に着手したところである。



### 遊休施設と跡地の有効活用

【問】市が所有する遊休施設や土地の有効活用の対応を図る上でも、活用の方向性を決めることが急務である。今後のスケジュールは。

【答】跡地活用は、これから本市のまちづくりの課題となることを十分認識しながら、次期長期総合計画策定時の平成27年度までには具体的な計画が示せるよう検討を進めていきたい。

### まちなか循環バス

【問】まちなか循環バスの今後の展望は。

【答】車両のラッピングによる従来のバスとの差別化を図り、広報等活動を行い、より多くの人に利用してもらうことで、本格運行につなげたい。

### ふるさと納税

【問】県内の他の自治体と比較して、本市の「ふるさと納税」はかなり少ないが、今後の対応は。

【答】よりたくさんの方々にご理解とご協力をいただきたいと考えているので、今後、より効果的なPR方法や対応について検討する。

### 島野浦島地域振興計画

【問】改正離島振興法には、離島特区や離島活性化交付金が創設された。次期島野浦島地域振興計画には、これらの施策を最大限に活かすべきでは。

【答】国の施策の活用を十分に検討したい。



▲島野浦島

### 改正離島振興法

【問】振興法が改正され、医薬や教育等のソフト事業にも使える交付金が創設された。取り組むべき施策は。

【答】人口減少の防止や定住の促進が改正の目的である。就業促進や介護サービスの確保など細かな施策の展開が可能となる。

### 最低制限価格の公表

【問】最低制限価格の事後公表の考えは。

【答】予定価格の事前・事後公表と密接な関係があるので、予定価格の事後公表を試行した上で、さらに研究していく。

### 新しい市歌の制定

【問】来年の市制施行80周年を記念し、新たに作成する考えは。

【答】3町と合併した新しい延岡の一体感をさらに醸成する上から、これにふさわしい歌詞を新たに加える方法で検討したい。

### オスプレイ本市上空飛行

【問】オスプレイは開発段階から事故を繰り返しており、国内航空法では飛行が禁止される欠陥機ともいわれている。オスプレイが本市上空を飛行訓練することに対する市長の所見は。

【答】オスプレイの飛行訓練ルートには、県北部上空の一部が想定されているので、飛行の安全性は極めて重大な問題として認識している。県と連携しながら情報の収集に努める。

### 歴史民俗資料館

【問】歴史民俗資料館の建設に取り進む考えは。

【答】大型プロジェクト事業の進捗状況を踏まえながら、城山周辺整備構想の中で今後の建設計画の検討を進めるとともに、市民の皆様や民間団体の意見等を伺っていききたい。

## 都市建設関係

### 本市の橋梁の状況

【問】本市の橋梁で、ここ10年以内に補修・建て替えが必要な橋梁数は。

【答】橋梁について、10年後の平成34年度までに補修、建て替えが必要な橋梁は48橋梁、全体の29%となっている。

### 妙田グラウンドの整備

【問】平成21年度から予算化されている妙田グラウンド整備計画の具体的内容は。

【答】本年度は、スポーツ広場の造成、芝生、排水路工事及び芝生広場の整地工事を予定している。25年度に多

### (仮称)凱旋通りの設置

【問】中央通り交差点から市役所前までの区間を「凱旋通り」と銘うって発信し、市民の誇りと郷土愛を醸成してみては。

【答】「凱旋通り」という名称については、本市のアスリートタウンとしての魅力を発信する一つの手段となりうるものであると思うので、検討していく。

目的広場の造成、芝生・排水路工事及び東屋・ベンチ等の施設整備を行い、中核施設としてグレードアップさせる。



▲整備中の妙田グラウンド





### 個人財産の災害支援対策

【問】個人住宅周辺災害について、がけ崩れ対策用の丸太、生コン等の資材の一部補助や、他の救済対策はできないか。

【答】個人が管理する土地の小規模な土砂災害については、公共性という観点から、現時点では対応することができない。しかし、一部の補助や支援対策については、他市の例なども調査してみたい。

### 高齢者配慮の道路整備

【問】郊外地の荒廃した道路では、高齢者が健康のための散歩もできない現状がある。このような道路等を整備する高齢社会対策の必要性は。



▲整備が求められる郊外地の道路

【答】道路は、すべての利用

者が安心・安全に利用できることが原則である。何らかの対策を検討する場合は、高齢社会対策を含めたユニバーサルデザインに基づく適切な整備を行っていく。

### 川中ジヨギングコース

【問】五ヶ瀬大橋の開通に伴い、コースの一部が変更になり、交差点を渡ることもなくなったが、危険では。

【答】この交差点は、信号機が設置されており、横断歩道の延長も長いことから交通事故の危険性も懸念され

## 経済環境関係

### 雇用対策

【問】外部の企業誘致よりも、地元若者を起業家に育成することが重要と考えるが、起業家育成に関する所見は。

【答】国や県、商工会議所や金融機関などの関係機関と連携しながら、積極的に支援に取り組む。

### メディアカルタウン構想

【問】メディアカルタウン構想は、市長の一丁目一番地の施策である。構想の今後の



▲五ヶ瀬大橋南側の交差点

る。今後、河川を管理する関係機関と協議し、より安全なルートについて検討する。

### 取り組みは。

【答】構想を確実に推進するためには、医産学官との連携を深めることが不可欠である。2月に日向市・門川町と締結した「医療関連産業振興等に関する連携協定」に基づき、2市1町が一体となった取り組みを展開していく。

### 6次産業化の支援

【問】米粉製品など新規加工起業家に対し、どのような支援が可能か。

【答】新規起業家の支援につ

いては、「儲かる農業」の実現に向けて大変重要な取り組みであると考えている。国や県の補助事業でフォローできない部分について、延岡市版の支援制度を検討している。

### 有害鳥獣対策

【問】有害鳥獣対策は、数年間続けないと効果が出ない。また、駆除費の速やかな支払いはできないか。

【答】県へ補助枠の拡大を要望していく。支払いについては、捕獲班と相談しながら、年度途中での支払いを検討していく。

### 農業経営形態

【問】本市に適応した、理想とすべき農業の経営形態についての考えは。

【答】水稲を中心としながら、畜産と連携した有機肥料の活用や、多様な品目と組み合わせた複合経営が、適した経営形態と考える。農業の経営指標として17の営農類型を定めて、市のホームページでも公開している。

### 古い空き家や廃屋対策

【問】予想される震度6強の

地震では、かなりの家屋が倒壊し、市民が犠牲になったり、避難路をふさいだりするが、危険な状態の家屋は市全体で何棟あるのか。また、その対策は。

【答】相談や苦情は平成20年以降82件あり、生活環境保護条例で対応しているが、不安の解消に至らないケースもある。現在「空き家・廃屋対策会議」を設置し、対策のあり方について検討している。

### 愛護動物の管理

【問】犬のふんに関する啓発と、罰則規定制定の考えは。

【答】罰則規定の制定については、昨年度に生活環境保護条例を改正してから間もないこともあり、基本的には罰則によらず意識啓発による問題解決を図りたい。

### 環境整備(草刈り)

【問】市の公有地の草刈り等を要望する窓口を一本化し、ワンストップの対応はできないか。

【答】管理する部署がわからない場合、市民生活に関する相談・苦情等の受付は、生活環境課が対応する。



# 福祉教育関係



## 地域医療体制の確立

【問】4月よりドクターヘリの運航も始まり、県立延岡病院のヘリポート機能を持った新救命救急センターの建設も進んでいる。県及び関係機関と進める「地域医療再生計画」の推進を評価する。県北地域の拠点病院としての県立延岡病院の現状と、休診科の再開の見通しは。

【答】医師数は、平成23年4月1日現在52名だったが、本年

9月1日には56名となり4名増加した。休診科については、本年4月から精神科が再開した。懸案の消化器内科は、来年4月に宮崎大学より2名の専門医が派遣される予定である。神経内科は医師不足の中、県において確保に取り組んでいる。

## 妊婦健診の費用負担

【問】国は14回程度の健診が受けられるよう公費助成を受けているが、本市では、14

回のうち8回は妊婦が費用を負担している。すべてを無料とすることはできないか。

【答】現在の国の補助制度は、今年度までの予定であり、今後は新たな制度が検討されている。自己負担の軽減は今後の課題とした。

## 胃がんリスク検診

【問】早期がんの発見率が高く、検査が受けやすく安価な胃がんリスク検診を、胃がん対策として導入しては。

【答】導入については、国の動向や他市の導入状況を踏まえ、研究したい。

## 自殺者問題

【問】自殺者増加に対する認識と対応は。

【答】延岡地域自殺対策協議会の中で関係機関と連携しながら「自殺は社会の努力で避けることができる死である」という認識のもと、地域の特性に応じた実効性の高い施策を推進する。

## ICT教育と環境整備

【問】本市のICT(情報通信技術)教育と整備の状況は。

【答】これまでに、教育の情

報化に努めており、校務用パソコン等を配備している。ICTの環境整備は、モデル校の指定など実証実験を行う中で、効果的な整備について検討したい。

## 陸上競技場などの改善

【問】西階陸上競技場や市民体育館は、ますます利用が高まる中で、両施設は築45年と33年を経過し、老朽化が著しい。特にトイレやシャワー設備は旧式のままであり、お粗末すぎてアスリートに申し訳ない。早急な改修は。

【答】全体改修の方向性を今後定めていく。特に、トイレの改修は全部はできないが、整備に向けて検討する。

## スポーツ施設の予約

【問】現在、各施設の予約は直接使用する施設で予約する必要がある。改善対策は。

【答】利用者の利便性向上を図るため、保健体育課と各総合支所での対応を検討する。

### 【用語解説】

【注1】南海トラフ巨大地震  
東海、東南海、南海地震の震源域が連なる南海トラフ(浅い海溝)の最大級の巨大地震。

8月に政府が公表した被害想定によると、マグニチュード9.1の地震と最大34メートルの津波により、死者最大32万3千人、全壊焼失家屋最大約23.8万棟と推定。

【注2】まちなか循環バス  
JR延岡駅を発着点に市街地の公共施設や病院などを結ぶ循環バス。11月から2カ月間実証運行する。料金は大人200円、子供100円。

【注3】改正離島振興法  
国の責務として無人島の増加や人口減少を防ぎ、定住を促進する施策を積極的に進めることを明記している。

島外への妊婦の通院や高校生の通学などを支援する「離島活性化交付金を柱に、税制優遇や規制緩和を行う「離島特区制度」の創設を盛り込んでいる。

【注4】ICT教育  
情報コミュニケーション

技術教育とも言われ「パソコン、プロジェクト、デジタルカメラ、電子黒板などの情報技術を用いて、学習者に新しいコミュニケーション環境を提供しようとする教育のこと。

## 本会議は市民の皆様に公開されています。

議場は中小企業振興センターに移動しました

定例会及び臨時会の本会議は傍聴することができます。

中小企業振興センター3階の傍聴席から、明日の延岡のまちづくりを目指す議会と市当局とのやりとりを見てください。

また、一般質問の様子はテレビでも生中継されていますのでご覧ください。

その他、本会議の記録は「会議録」として、インターネットで検索することができます。

- 傍聴席 約60席
- テレビ放映  
ケーブルメディアワイワイ111ch
- 会議録検索システム  
[www.kensakusystem.jp/nobeoka/index.html](http://www.kensakusystem.jp/nobeoka/index.html)



追跡！その後どうなった？

# 請 願・陳 情

市民の皆様の意見や要望などを市政に反映させる方法の一つに、請願・陳情の制度があります。議会では前年度採択した陳情・請願がその後どのように市政に判定されているか市当局に回答を求めました。

### 【陳情名】

市立保育所・児童館等の民営化事業について

【議会採択年月日】

平成23年7月6日

### 【処理状況】

本年10月に市立保育所・児童館の民営化計画を策定した。

計画では、保育所4園ならびに児童館2館の民営化を図る。また、児童数の減少等により民営化が困難な3保育所等について、指定管理者制度への移行を図る。

### 市立保育所・児童館の民営化計画の概要

	実施年度	保 育 施 設
民営化	平26	山下保育所、山下児童館、 中島保育所、中島児童館
	平27	川中保育所、土々呂保育所
指定管理者制度へ	平25	槇峰保育園、長井保育所
	平28	島浦保育所

### 【陳情名】

延岡が誇る伝統鮎やなの存続に関する陳情

【議会採択年月日】

平成24年3月22日

### 【処理状況】

平成24年度「伝統鮎やな保存観光事業」の予算が議決され、伝統鮎やなの存続に向け、延岡観光協会が市と連携を図りながら準備を進めている。

なお、25年度以降の鮎やな事業については、「これからの鮎やなを考える会」等で継続的に協議している。

◇ ◇

鮎やなに関する陳情については、この陳情のほか、「重要な観光資源である伝統鮎やなの存続に関する陳情」「伝統鮎やなの存続に関する陳情」が同定例会でいずれも採択されています。

## 佐伯市議会とソフトボールで交流

将来の高速道路開通に伴う東九州軸の連携を議会レベルでも図ろうと、9月1日、西階球技場で、大分県佐伯市議会とソフトボールの交流試合を行いました。

当日は、晴天のもと、将来の両市の発展を思わせるような熱気あふれる打撃戦となり、白球を巡ってあちらこちらで歓声が上がっていました。なお、試合のほうは9対8で本市議会が勝利しました。



## 研修会参加報告

秋は全国各地で各種研修会が開催されていますが、本市議会議員も2つの研修会に参加しました。

10月10日から11日にかけて松山市で「全国市議会議長会研究フォーラム」が開催され、参加した9名の議員は、地方議会における政策形成のあり方や、災害時の議会の役割について研修を受けました。

また、10月11日から12日にかけては、盛岡市で開催された「全国都市問題会議」に議員の7名が参加しました。会議では「震災から見えた絆の可能性」をテーマに、大学教授、被災地の市長、NPO法人代表らによる講演やパネルディスカッションを通じて、今後の地方自治のあり方についての見識を深めました。



▶ 研修会に参加した議員（上）全国市議会議長会研究フォーラム、下）全国都市問題会議



## 平成23年度行政視察受け入れ状況

時期	県別分布	都市数	視察人数	
			議員	職員
4～6月	福井1、山口1	2	13	2
7～9月	北海道1、福井1、千葉1、三重1、奈良1、愛媛1	6	33	8
10～12月	北海道1、東京1、神奈川1、茨城2、埼玉1、大阪1、兵庫2、島根1、山口1	11	78	14
1～3月	東京1、千葉1、滋賀1、愛媛1、長崎2	6	23	1
合計		25	147	25

## ようこそ延岡市へ

### 行政視察受け入れ状況

**25都市172名が来延**  
 毎年、本市には全国各地の市・町議会から、市内のいろいろな施設や行政の取り組み状況について視察の方々が訪れます。

昨年度は、口蹄疫被害の影響で少なかった22年度の15都市を上回る、25都市172名が視察に訪れました。「自治体クラウド」や「地域医療を守る条例」「清掃工

## 視察都市の主な調査項目

分野	項目
議会	議会改革、シティミーティング/議会活動報告会
企画	自治体クラウド、新庁舎建設基本計画
環境	清掃工場
産業	観光戦略、バイオマスタウン構想
福祉・教育	地域医療を守る条例

場」など本市から積極的に情報を発信している事業に関する視察が増加しました。なお、視察の際には、関係部課、議会事務局で、テーマによっては市議会議員も対応し、事業説明等を行っています。来訪都市、調査項目など詳しい内容は左表のとおりです。

## 今年度の本市議会の視察状況

期間	会派名・委員会名	調査項目	視察地
10/1～3	無所属クラブ	東日本大震災への対応ほか	多賀城市、石巻市
10/2～4	のべおか市民派クラブ、日本共産党	バイオマス発電、地域防災計画	秩父市、焼津市
10/23～25	総務財政委員会	遊休資産、地域公共交通体制	相模原市、太田市
10/23～26	都市建設委員会	橋梁長寿命化、上水道ほか	日光市、一関市、盛岡市
10/30～11/1	経済環境委員会	観光振興、水産業振興ほか	旭川市、稚内市
10/30～11/1	福祉教育委員会	学力向上、子育て支援ほか	つくば市、秋田市

## 本市議会の視察実施状況

本市議会でも、各種事業に関する先進地の取り組みを視察研修し、それらを参考に本市の市政に活かせるよう調査活動を行っています。今年度10月までの状況は左表のとおりです。

## 編集後記

「赤ちゃんの時は、肌を離さず。動き回り出したら手を離さず。思春期の時は心を離さず」先日、子育てに関して、新聞で目にした言葉です。まさに、子育ての極意であると思います。今期定例会でもいじめ問題が多くとりあげられました。いじめの有無よりも、まずは、子どもをたくさん愛情で育て、しっかりと見守り、安全安心な環境づくりに努めたいと思います。今回は、議場が中小企業振興センター3階に移って初めての議会でした。シンブルで良い議場です。傍聴席も60席ほどあります。議員席との距離も近く熱気が伝わってきます。ぜひ、傍聴に来てください。



次回の定例会は12月に予定されています。第54号は来年2月初旬に発行する予定です。